



日本の宝島“天草”の創造を目ざして！

市政だより

AMAKUSA 天草



「笑顔いっぱい、力強いパチさばき」

3月2日、西平椿公園で開催された「第17回あったか天草椿まつり」で、天草西校の生徒たちが『天草西高太鼓』を披露。約2,000人の観客が見守る中、笑顔いっぱいの力強いパチさばきで、同まつりを盛り上げました（9ページに関連記事）。

主な内容

- 下田温泉街の各種施設がオープン！… 2～4
- 天草文化交流館がオープン！…………… 5
- 浦・宮田・棚底小学校が閉校…………… 6～7
- 宝島の話…………… 8～11
- みんなの広場…………… 12～15

平成20年

4

1

No.48

4月1日

下田温泉街の各種施設 がオープン!

「下田温泉ふれあい館ぷらっと」「温泉広場・下田温泉 五足の湯」「さくら公園」

観光客などの交流人口の増加を図るとともに、なお一層にぎわいのある温泉街とするため、下田温泉街を一体的に整備する「下田地区まちづくり交付金事業」。同事業で整備を進めていた「下田温泉ふれあい館ぷらっと」「温泉広場・下田温泉五足の湯（足湯）」「さくら公園」が、いよいよ4月1日(火)にオープンします。今号では、各施設の概要を紹介します。※詳しいことは、本庁（別館）・商工観光課観光振興係 ☎1111 内線 2559 へお尋ねください。

温泉広場・下田温泉五足の湯

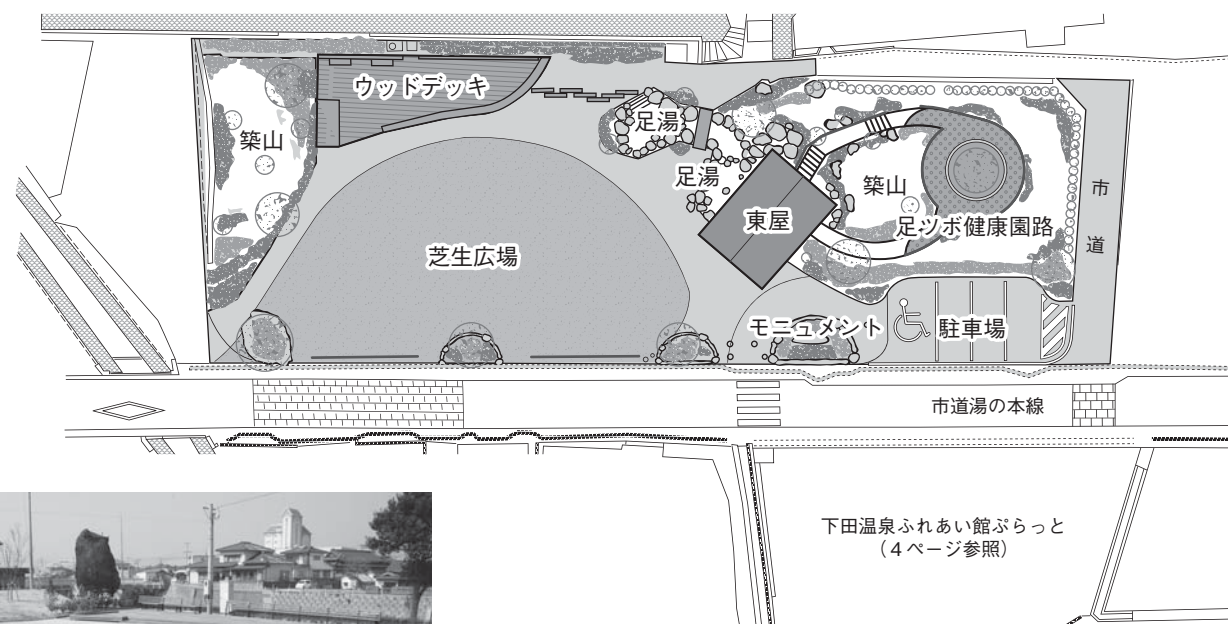


【下田温泉五足の湯（足湯）】足を湯に浸しながら、楽しみ・安らげる場として整備したもので、最大約 30 人が利用できます(無料)。



【足ツボ健康園路】

大小の玉石と、ぎぼく丸太を埋め込んだ円形の園路。足湯を満喫した後に、そのまま素足で歩くとリフレッシュできます。



下田温泉ふれあい館ぷらっと
(4 ページ参照)



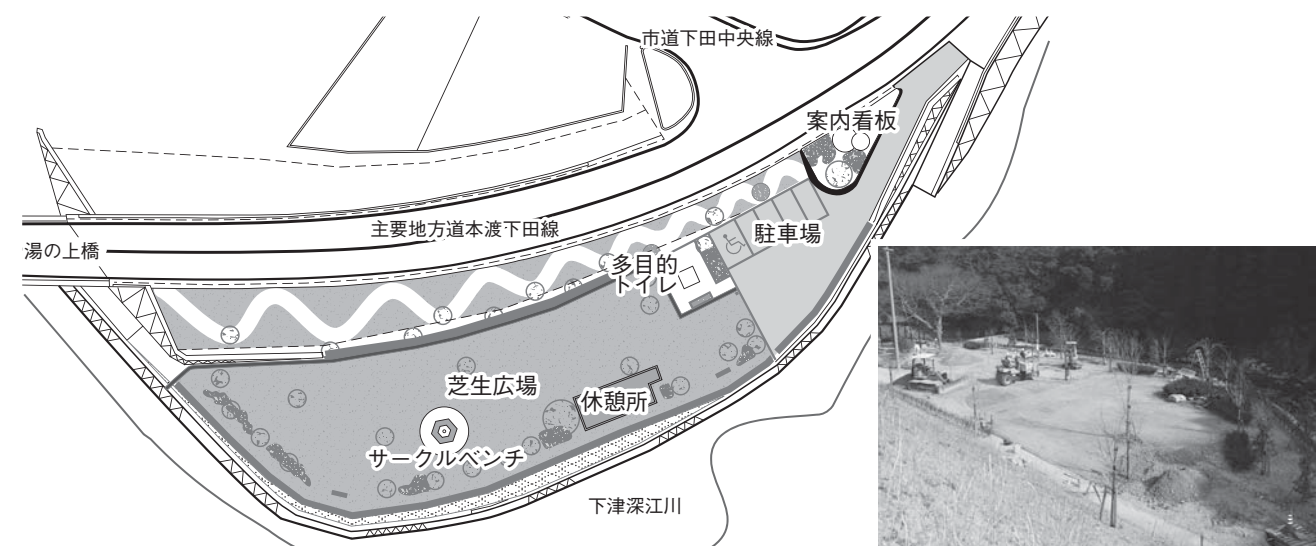
【芝生広場・ウッドデッキ】憩いの場やイベント会場として利用できます。ウッドデッキは、イベントのステージなどとしても利用できます。



【モニュメント】

温泉広場の入口に、足をかたどったモニュメントを設置。温泉マークと「下田温泉五足の湯」の文字が刻まれており、足湯のイメージを醸し出しています。

さくら公園



▲ 3月12日現在の整備状況

下田温泉街の玄関口の一つとなる「さくら公園」には、温泉街のイメージアップを図るため、ソメイヨシノやシダレザクラなど4種類の桜をはじめ、ツバキやアジサイなど8種類の花を植栽。四季折々に咲く、さまざまな花をお楽しみいただけます。

また、川のせせらぎを聞きながら、観光客や市民の皆さんに安らいでもらえるよう、芝生広場や

サークルベンチ、休憩所、多目的トイレなどを新設しました。休憩所には、天草陶石で作ったテーブルといすを2組設置しています。

さらに、同公園の入口には、縦3m・横2mの下田温泉街の案内看板を設置。下浦石を積み上げた柱と、強化ガラスで作られた看板は、下田温泉街の玄関口にふさわしいものとなっています。

◆さくら公園、温泉広場・下田温泉五足の湯、下田温泉ふれあい館ぷらっとの位置図



下田温泉ふれあい館ぷらっと



【多目的ホール】

研修や集会のほか、陶磁器の絵付け体験などができます（50人利用可）。



【会議室】

会議や研修などに利用することができます（30人利用可）。

【オープンスペース】

観光スポットを写真パネルや映像などで紹介するほか、天草陶磁器の展示なども行います。また、いすとテーブルを設置し、自由にくつろいでいただくスペースとしています。



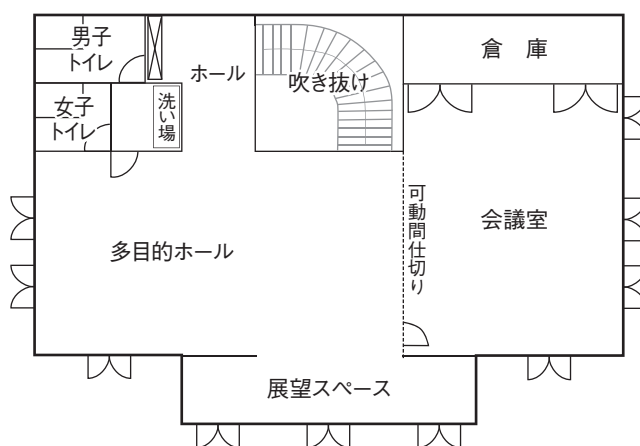
【観光案内】

天草の観光案内や、施設の利用受け付けなどを行います。

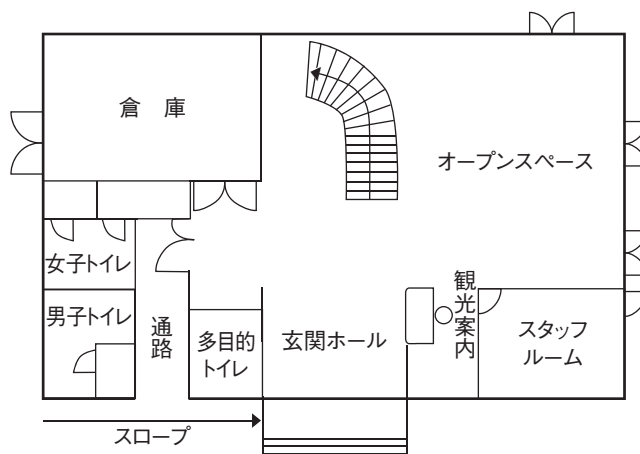


【多目的トイレ】

手すりやおむつ交換用のベビーシートなどを設置しています。



▲ 2階平面図



▲ 1階平面図

◆施設の概要

所在地	天草町下田北1310番地3
電話番号	☎273726
FAX番号	FAX273727
開館時間	午前9時から午後10時まで
休館日	毎週水曜日（祝日のときは翌日）
面積	敷地 465㎡／建物 336㎡

◆施設使用料

区分	基本使用料（1時間当たり）
会議室	420円〔315円〕
多目的ホール	525円〔525円〕

※〔 〕内は1時間当たりの冷暖房使用料。

※営利を目的として利用するときや、入場料を徴収するときは、基本使用料の5割増しとなります。

※1時間未満の使用も1時間として計算します。

4月1日 天草文化交流館がオープン！



本渡中央北地区まちづくり交付金事業の一つとして改修工事を行ってきた「天草文化交流館」が4月1日(火)にオープンします。

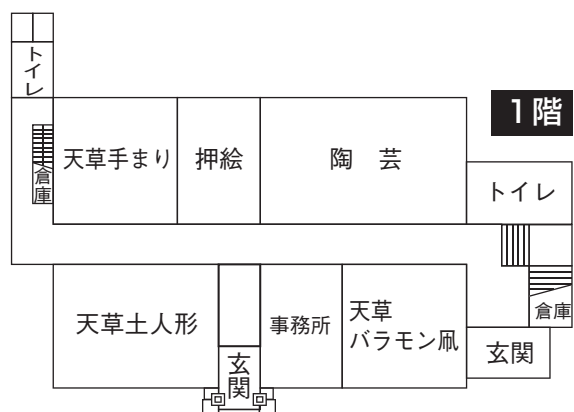
同館は、昨年4月に国の登録有形文化財となっており、文化的価値をそのまま残し、伝統工芸の体験や技術の継承を目的とした学習や交流の場として整備しました。今号では、施設の概要などについて紹介します。

※詳細は天草文化交流館 ☎ 5665 へ。



展示室は展示会のほか、会議や研修などに利用することもできます(有料・要予約)。

また、倉庫には旧天草教育会館に保管されていた貴重な教育関連資料を展示します。



施設の概要

- 【所在地】天草市船之尾町 8 番 25 号
 【電話番号】☎ 5665
 【開館時間】午前 9 時から午後 5 時まで
 【休館日】月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日
 12月29日～翌年 1 月 3 日
 【面積】敷地 2,314㎡／建物 564㎡

オープン記念イベントを開催！

- 【1階・工芸室】
 ●陶芸・土人形・風・てまり・押絵の展示
 【2階・展示室】
 ●天草土人形展… 4 月 1 日(火)～5 月 31 日(土)
 ●小・中学校作品展… 4 月 1 日(火)～同 29 日(火)
 ●旧天草教育会館収蔵品展
 ※時間はいずれも午前 9 時～午後 5 時(4 月 1 日は正午～午後 5 時)。

各工芸室では、天草の伝統工芸である陶芸やバラモン風、手まり、土人形、押絵などの制作体験ができ、できあがった作品は持ち帰ることができます(有料・要予約)。



宮田小学校



～3月2日の閉校式～

閉校記念のアトラクションでは、5・6年生が宮田地区の伝統芸能「棒踊り」を披露。このほか、児童や保護者、地区住民の皆さん全員での合唱など、出席者が一体となって閉校を惜しみました。



▶校舎をバックに
記念撮影

学校創立以来134年、宮田小の象徴としてそびえる大楠の木があります。20数年前、友だちと競って登ったり、陣とりをしたりして遊んだ記憶が浮かんできます。背の低い私は、辺りを見下ろせる大楠の枝分かれの場所が大好きでした。大楠は今も変わらぬ息づかいとぬくもりで子どもたちを見守ってくれています。私は卒業生であり、宮田っ子の子どもを持つ母親、そしてこの地をいとおしく思

う住民の1人でもあります。いまだ閉校を実感できずにいますが、今、確かに言えることは、世代を超えたつながり、助け合い、ふれあいを大切にしていこうとが必要だということです。輝く未来、私たちの子孫に心豊かに生活してほしい。大楠のように雨風に負けず、地に根を張り、日の光をさんさんと受けて生きてゆきたい。大楠の木が生き方を示してくれました。ありがとう。



大楠の木の下で

堀川亜紀子さん（宮田・34歳）
昭和61年3月卒業

棚底小学校



～3月2日の閉校式～

閉校式典後、「さようなら棚底小」と題して、児童による小学校での活動のようすの発表や歴史を振り返る劇などが披露されました。また、地元のかっぱ劇団も登場し、閉校式を盛り上げました。



◀かっぱ劇団が
劇を披露

私たち6年生5人は、平成14年に棚底小学校に入学しました。入学したころ1年生は、女子3人、男子3人の6人でした。入学式では、先生の後に続いて歩き、大きな声で返事したことを今でも覚えています。3年生になり、初めて男性の先生になってドキドキしました。4年生になってすぐに、春希さんが転入してきて7人になって、とてもうれしかったです。

6年生になってすぐ、映画「さようなら棚底小」と題して、児童による小学校での活動のようすの発表や歴史を振り返る劇などが披露されました。また、地元のかっぱ劇団も登場し、閉校式を盛り上げました。



棚底小学校での思い出

浦本 雛さん（棚底・12歳）
平成20年3月卒業

18	5	4	平成2	60	59	56	50	49	47	35	34	33
棚底小学校と改称	市町合併により、3校が天草市立浦・宮田・棚底小学校と改称	大臣表彰を受ける校給食研究発表・文部大臣表彰を受ける校給食研究発表・文部大臣表彰を受ける校給食研究発表	「棒踊り」を運動会団体演技にする	宮田小学校が県指定学校給食研究発表・文部大臣表彰を受ける校給食研究発表	宮田小学校が県指定学校給食研究発表・文部大臣表彰を受ける校給食研究発表	宮田小学校が県指定学校給食研究発表・文部大臣表彰を受ける校給食研究発表	宮田小学校が県指定学校給食研究発表・文部大臣表彰を受ける校給食研究発表	宮田小学校が県指定学校給食研究発表・文部大臣表彰を受ける校給食研究発表	宮田小学校が県指定学校給食研究発表・文部大臣表彰を受ける校給食研究発表	宮田小学校が県指定学校給食研究発表・文部大臣表彰を受ける校給食研究発表	宮田小学校が県指定学校給食研究発表・文部大臣表彰を受ける校給食研究発表	宮田小学校が県指定学校給食研究発表・文部大臣表彰を受ける校給食研究発表

さようなら。わが母校

～浦・宮田・棚底小学校が閉校～



浦小学校



宮田小学校



棚底小学校

4月1日、倉岳地区の「浦小学校」「宮田小学校」「棚底小学校」を統合し、『倉岳小学校』が開校します。

これに伴い、明治7年に開校した宮田小学校、翌8年に開校した浦小学校、棚底小学校が3月31日で歴史の幕を閉じました。

これまでに多くの人たちがこの学び舎を巣立っています。今号では、各校の卒業生に小学校の思い出を語っていただいたほか、3月2日に各校で行われた閉校式の様子を紹介します。



浦小学校



～3月2日の閉校式～

式典後、「133年の思い出を語る会」が開かれ、児童が浦小学校の歴史について発表したほか、地域の方々が思い出を熱く語りました。出席者は、小学生時代の懐かしい話に聞き入っていました。



◀2月20日には
閉校記念植樹も

3月31日で133年の歴史がある浦小学校が閉校になる。思えば私も昭和29年の入学で、浦村立浦小学校最後の新生入生だった。当時は学年で70人を超えていたが、今では全校児童が36人で半数にも満たない。時代の流れに伴い、3月2日に閉校式を迎えた。たくさん花が飾られた会場で、1部の古い写真を見つけた。校舎の写真である。息子が入学したときもその校舎

で、「父、母もここで勉強したよ」と話しながら、きしむ廊下を2人で歩いたことが懐かしい。息子の卒業の年に、お世話になった学舎にお礼の意を込め、校門の横に2人で門松を立てた。閉校式が終わる、校門を出るとき、参加できなかった子どもの分もと、深々と頭を下げた。昔と変わらぬカイヅカイブキとケヤキが静かに見送ってくれた。「ありがとう浦小学校」「さようなら浦小学校」。



ありがとう、さようなら浦小学校

荒平 剛さん（浦・60歳）
昭和35年3月卒業

32	30	22	16	昭和6	大正12	43	38	31	19	8	明治7
倉岳村立浦・宮田・棚底小学校と改称	倉岳村立浦・宮田・棚底小学校と改称	倉岳村立浦・宮田・棚底小学校と改称	倉岳村立浦・宮田・棚底小学校と改称	倉岳村立浦・宮田・棚底小学校と改称	倉岳村立浦・宮田・棚底小学校と改称	倉岳村立浦・宮田・棚底小学校と改称	倉岳村立浦・宮田・棚底小学校と改称	倉岳村立浦・宮田・棚底小学校と改称	倉岳村立浦・宮田・棚底小学校と改称	倉岳村立浦・宮田・棚底小学校と改称	倉岳村立浦・宮田・棚底小学校と改称

3校の歴史



▲熊本大学政策創造研究教育センターの畑中寛氏(写真右)をコーディネーターに、活発な意見交換が行われたパネルディスカッション

まちづくりのあり方を探る

～本渡まちづくり発表会～

2/24
本渡

本渡まちづくり協議会主催の「まちづくり発表会」が2月24日、天草市民センターで開かれました。同発表会では、亀場・宮地岳・志柿地区振興会が、あいさつ運動や土着菌づくりなど独自の活動事例を発表した後、「市民活動から始まる魅力あるまちづくり」をテーマにパネルディスカッションを実施。まちづくりの課題や解決策、地域の特性を生かしたまちづくりのあり方などについて意見交換され、約200人の参加者は熱心に聞き入っていました。



▲地元特産品を使った試作品を味見する参加者

五和のうまかもんはどうでしょう？

～うまかもんづくり試作品試食会～

2/26
五和

2月26日、総合交流ターミナル施設ユメールで「うまかもんづくり試作品試食会」が開催されました。この「うまかもんづくり」は、五和地域の5地区振興会の加工グループなどが地域独自の商品を開発しようと、昨年7月から取り組んでいるもの。「ごぼうチップ」や「かじめの佃煮」など地域の特産品を使った試作品17点が出品され、参加者は真剣に味見をしていました。今回の試食会の結果を踏まえ、引き続き商品化に向けた取り組みが実施されます。



▲肩をたたきながら楽しそうに語らうおばあちゃんと子どもたち

おばあちゃんとひな祭り

～船津サロン「憩い」でお年寄りと子どもたちが交流～

3/1
牛深

桃の節句を間近に控えた3月1日、牛深町の船津サロン「憩い」で船津地区のおばあちゃんと子どもたちがいっしょに『ひな祭り』を行いました。このサロンは旧医院の診療室を改装したもので、お年寄りの憩いの場となっています。この日のために、おばあちゃんたちは手作りひな飾りを製作。集まった子どもたちは、おばあちゃんに肩もみをしたり、いっしょに輪投げをしたりして、楽しいひとときを過ごしました。



▲初めて実現した天草西高太鼓と必由館高校和太鼓部の共演

太鼓のリズムとハイヤの舞が西海岸を彩る

～あったか天草椿まつり～

3/2
天草

約2万本のヤブツバキが自生する西平椿公園で3月2日、第17回あったか天草椿まつりが開催されました。この催しは、地元の有志でつくる同まつり実行委員会(野田昭市会長)が、地域の資源を生かして地元を盛り上げようと毎年実施しているもの。天草西高太鼓をはじめとする太鼓団体の演奏や苓明高校郷土芸能部の天草ハイヤ踊りのほか、ツバキ油搾りの実演やバザーなどもあり、絶好の花見日和の中、約2,000人がイベントを満喫しました。



▲パネルディスカッションのようす

将来の地域づくりを考える

～天草町まちづくり発表会～

2/17
天草

地域課題の再認識と10年後を見据えた地域づくりをテーマに、天草まちづくり協議会(濱崎一芳会長)が主催する「まちづくり発表会」が2月17日、高浜公民館で開催されました。町内5地区の代表者が地域の課題や今後の目標について発表したほか、パネルディスカッションでは各地区振興会長が地域資源の発見や人づくりについて意見交換。参加した振興会役員や住民約160人は、今後の地域づくり活動に生かそうと熱心に耳を傾けていました。



▲(社)「小さな親切」運動熊本県本部の河口和幸・代表から賞状を手渡される生徒

地域住民との清掃活動が高評価

～有明中が「小さな親切」実行章を受章～

2/18
有明

有明中学校(中上徹校長・全校生徒152人)が、「小さな親切」運動の実行章を受章し、2月18日、(社)「小さな親切」運動熊本県本部から賞状などが贈られました。この章は、同運動の取り組みの一つとして、環境美化や社会奉仕など、地域で親切な活動をした個人や団体などに贈られるものです。同校は、昨年4月から学校版ISOの取り組みを行っており、全校生徒が地域住民といっしょに行った年4回の四郎ヶ浜ビーチの清掃活動などが高く評価されました。



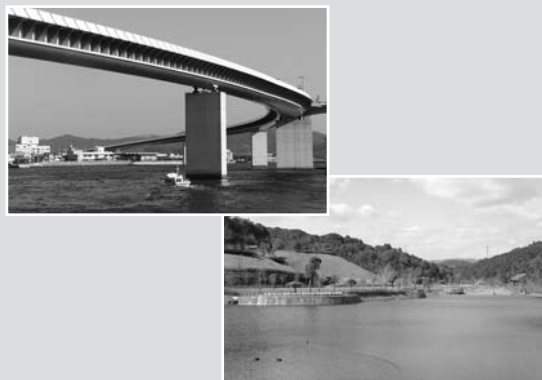
▲夢中でボールを追いかける参加者の皆さん

ミニバレーで交流を深める

～親睦ミニバレーボール大会～

2/20
御所浦

2月20日、第2回親睦ミニバレーボール大会が御所浦中学校体育館で開催されました。この大会は、地域の活性化と地域住民の親睦を図ろうと、御所浦まちづくり協議会が実施しているものです。当日は、各地区振興会や事業所、いとこ会など、20チーム・約120人が参加。夢中でボールを追いかけるなど懸命にプレーしながら、交流を深めていました。なお、優勝は、見事なチームワークで接戦を制した南地区(元浦・大浦)のオリオンチームでした。



▲牛深ハイヤ大橋(=写真左上)と西の久保公園(=同右下)

“牛深ハイヤ大橋”と“西の久保公園”が高評価 ～第20回くまもと景観賞～

くまもと景観賞の表彰式が3月5日、熊本県庁で開かれ、牛深町に架かる“牛深ハイヤ大橋”が第10回から第19回までの同賞受賞作の中で、作品自体のすばらしさはもとより、受賞後の維持管理が良好なものに贈られる「20回記念大賞」を受賞しました。また、市が維持管理する“西の久保公園”が第20回の「地域景観賞」を受賞。本来の地形を生かしたつくりで、地域性や四季を感じることができる景観として高く評価され、今回の受賞となりました。



▲完成した天草支所庁舎

市民の心のよりどころに！

～天草支所庁舎落成～

天草支所庁舎の落成式が2月20日、同庁舎大会議室で開かれ、安田市長や関係者約90人が出席し、完成を祝いました。式典で安田市長は、「新しい庁舎が住民皆さんの心のよりどころになるよう、行政サービスのさらなる向上に全力で取り組んでいきたい」と式辞を述べました。式典後、庁舎前でお祝いのもち投げが行われ、集まった皆さんの笑顔がお祝いの締めくくりに花を添えました。なお、新庁舎での業務は2月25日から開始しています。



▲五和町の御領地区で古民家を見学する参加者

半島の特性を生かして魅力ある地域づくりを ～全国半島地域づくりフォーラム in 宇土天草～

2月23・24日、『全国半島地域づくりフォーラム in 宇土天草』が上天草市松島総合センター「アロマ」などで開催されました。これは、半島の特性を生かした魅力ある地域づくりについて考えようと国が行っているもので、今回は宇土・天草地域で実施。23日には、五和町御領地区で町並みの保全と観光交流への展開について、御所浦町で民泊を核とした都市・農村交流の展望について現地視察などが行われ、全国から訪れた参加者は熱心に意見交換しました。



▲講演の後、参加者からの意見に答える
レンゾ館長(=ステージ上左)と脇田理事長(=同右)

世界遺産登録への理解を深める

～「信仰息づく暮らし・風光」講演会～

3月16日、大江・崎津のキリスト教関連遺産の世界遺産登録について理解を深めることを目的とした講演会が、大江漁村センターで開催されました。講演会には大江・崎津教会の信徒や地元住民など約200人が参加。日本二十六聖人記念館のデ・ルカ・レンゾ館長と、ながさき地域政策研究所の脇田安理事長が、信仰と観光の共存について講演しました。参加者からは、「祈りの場が守られるのか」など、慎重な取り組みを求める声も聞かれました。



▲新和町民センター前をスタートする参加者

春の天草路を自転車で快走

～天草下島一周サイクルマラソン大会～

3/2
新和

3月2日、天草下島一周サイクルマラソン大会が、新和町民センター前をスタート・ゴールとする3つのコースで開催されました。15回目となる今年の大会には、小学生から70歳代までのサイクリング愛好者786人が全国各地から参加。遠くは北海道から参加する人も。

当日は天候にも恵まれ、選手たちは春を思わせるカラフルなユニフォームと自転車で、各自のペースで天草路を快走しました。



▲協力してシイタケの駒を打ち込む親子

地元特産“シイタケ”の栽培方法を学ぶ

～親子シイタケ駒うち体験～

3/9
河浦

板之河内森林公園利用促進委員会(鶴田道男会長)主催の「第4回親子シイタケ駒うち体験」が3月9日、旧板之河内分校で行われました。これは、地元特産のシイタケの栽培方法を子どもたちに知ってもらおうと実施しているものです。参加した親子約40人は、シイタケ生産の歴史などについて説明を受けた後、クヌギの木約60本に駒を打ち込みました。このクヌギの木は同委員会で約1年間管理した後、自宅で収穫を楽しめるよう参加者に配られます。



▲2人仲良く最後まで走りきるぞ！

潮風を受けながら仲良く走る

～宮田地区ペアーマラソン大会～

3/16
倉岳

3月16日、宮田地区振興会主催の「第22回宮田地区ペアーマラソン大会」が、えびす像公園前をスタート・ゴールとする3kmのコースで開催されました。この大会は2人1組で参加し、2人そろってゴールする健康マラソンで、遠くは大阪から帰郷した人など市内外から145組が参加。潮風を受けながら、春の天草路を仲良く走っていました。

また、ゴール後には大抽選会が行われ、自転車や掃除機などの当選者が決まると、大歓声があがっていました。



▲価格は1個1,000円。
車のアクセサリなどにどうぞ！

栖本オリジナルグッズ第2弾誕生！！

～「へのかっぱ“お守り”」発売開始～

4/1
栖本

昨年8月12日の発売開始以来、「ご利益があった」「かわいい」などと好評の『へのかっぱストラップ』に続き、4月1日から、栖本まちづくり協議会がオリジナルグッズ第2弾『へのかっぱ“お守り”』を発売します。これは、交通安全・家内安全を祈願し、車などのアクセサリにしておこうと考案されたものです。ストラップ同様、栖本温泉センターで購入できます。詳細は、同協議会事務局(栖本支所・総務振興課内) ☎0963111へ。

みんなの 広場



市長随筆



イノシシ被害対策の 新たな取り組み

タケノコの季節を迎え、普段にも増して、イノシシの被害を市内各地で耳にします。平成18年度のイノシシの捕獲頭数は2,442頭と、県内では最多となっていますが、イノシシによる農作物の被害は後を絶たず、「イノシシをどうにかしてほしい」という声が、多くの市民の皆さんから寄せられています。こうしたことから、イノシシの捕獲をさらに推進するため、1頭当たりの有害鳥獣捕獲報奨金を平成20年度から引き上げる予算を、先の市議会にて認めていただきました。さらに、被害を減少させる対策の一つとして、イノシシ

解体処理施設を建設することになっています。来年度で設計し、平成21年度に着工する予定です。

捕獲されたイノシシはこれまでは、土に埋めたり、焼却したりして処理されていましたが、解体処理施設で衛生的に処理することで、捕獲者の負担軽減が図れます。また、解体したイノシシの肉は食用として加工し、販売することとしています。

天草市の新たな特産品の一つとして、加工したイノシシの肉を売り出していければと考えています。

天草市長 安田 公寛



わ かつ さい 若っ喝采

水本 陽子 さん（諏訪町・25歳）

天草唯一の女子サッカーチーム“フェータナ”に所属。毎週水曜日、本渡運動公園で練習しています。メンバーは、市内の中学生から40代の人まで幅広く、練習はもちろん、みんなで話すことも楽しみです。サッカーは見るより、プレーするほうが断然楽しいです！皆さんも、いっしょに汗を流しませんか。



宝島の健康 よ3ず屋

柳邊 レイ子 さん
(天草町福連木・85歳)

—— 毎日の楽しみは？
近所の友だちと遊ぶことです。お互いに行ったりきたりしています。あと、週2回、グラウンドゴルフを地域の皆さんといっしょに楽しんでいます。

—— 健康の秘訣は？

散歩やグラウンドゴルフなど適度な運動をすること、下田温泉に入ること。やっぱり下田温泉は最高ですよ。最近は体調も良く、病院にかかったことがありません。61歳のときにバイクの免許を取得し、グラウンドゴルフには今でもミニバイクで通っています。



パン焼きに夢中の園児たち

食育で生きる力の基礎をはぐくむ

楠浦保育所

有明町の楠浦保育所（古川るり子所長・全園児24人）では、食と農の大切さを理解し、生きる力の基礎をはぐくもうと、「野菜を育てる体験」や「料理を作る体験」「おいしく食べる体験」など、さまざまな体験活動を行っています。

この日は、保育所の畑で育てたゴマをすり鉢ですって、野菜のゴマ和えを作りました。また、園庭では炭火をおこしてサンマを焼いた後、残った炭火を利用して、竹にパン生地を巻いて焼く「パン焼き体験」をしました。こんがりとし、おいしそうにパンが焼きあがると子どもたちは大喜び。自分たちで作った新鮮な野菜や焼きたてのパンをおいしそうに食べていました。

子どもたちの ピュアな感覚を大切に！

本町保育園

本町保育園（津田れい子園長・全園児55人）では、豊かな自然に触れるとともに、文・芸術的な感動体験を通して、子どもたちの豊かな感性をはぐくんでいます。

昨年は、イタリア人の芸術家を講師に招いて「アート・ワークショップ」を開催。ラ

イパインティングを肌で感じ、子どもたち自身も木製のキャンバスに描かれたラインに自由な発想で色をつけていくなど、時間を忘れて熱中していました。

このほか、和太鼓の演奏や音楽鑑賞、国際交流なども行っています。いろいろな人やものとの出会い、経験を積み重ねながら、子どもたちのピュアな感覚をそのままに成長してほしいと願っています。



楽しかったアート・ワークショップ



学習発表会で「どんぞつね」の兵十と
ごんの心情を表現する児童たち

体験活動を通して豊かな心情をはぐくむ

久玉小学校

久玉小学校（三宅和紀校長・全校児童190人）は、平成17年度に内之原小学校、山之浦小学校と統合され、新生・久玉小学校として再出発しました。

本校は、体験活動を通して「豊かな心情」をはぐくみ、授業の中で「調べ学習」などに取り組んでいます。学習発表会では、日ごろの成果を十分に発揮することができました。また、子どもたちは6年間で12種の花や野菜の栽培を体験します。種子や苗から栽培し、観察や収穫の喜びを味わうことで、感性を高め、情操豊かな子どもが育つように指導しています。花などの美しさに感動する心や世話する根気強さが育つことを願っています。

本校の誇れるもの

稜南中学校

本校（岩崎伸治校長・全校生徒282人）は、4月に創立14年目を迎えます。平成19年度は県駅伝大会4位入賞など、多くの実績を残すことができました。

稜南中学校には誇れるものが3つあります。1つ目は、体育大会での応援演舞。全校



体育大会での一糸乱れぬ応援演舞

ぼくのわたしの学校生活
自慢

生徒で一糸乱れぬ応援演舞を披露します。2つ目は、合唱発表の質の高さ。どの学年も心に響く、すばらしい歌声を聞かせてくれます。3つ目は、学習成果発表会の内容と表現力。各学年、テーマに基づき、演劇や展示をします。演劇では、涙を流す保護者もおられます。稜南中の生徒は、これらのすばらしいものを引き継いでいこうとする意欲に満ちています。



煌めく人々たち

「漁のおもしろさ、可能性を感じて」

谷上 俊晴 さん（倉岳町宮田・56歳）

父親と2人で漁を始めて38年。今は、息子2人と東シナ海へ向かう。狙う獲物は「アラ」だ。アラは成長すると30kgを超える魚で、鍋料理などで食するとかなりの美味。しかし、水揚げ量が少ないため幻の魚ともいわれ、1kg当たり約1万円という高値で取引される。

「近海でもとれないことはないが、漁は魚がとれないと話にならない」。より水揚げが期待できる東シナ海で漁をするようになったのは約5年前。東シナ海で操業できる船は限られており、県内では、

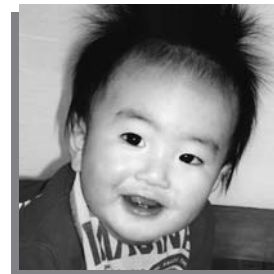
谷上さんの船を含め6艘のみだ。アラが高値で取引されるのは冬場。秋風が吹くようになってから4月までがアラ漁の最盛期。時期を過ぎるとアラは狙わない。「アラは成長するのに約20年かかる魚。むやみにとることは、漁場を自分の手で荒らすようなもの」。資源を大切にしなければ漁業の未来はない。

いったん漁に出ると約10日間は戻らない。その間、何度もしけが襲うこともある。しかし、東シナ海の怖さはしけ以外にもある。それは外国船だ。自分の船よりもはるかに大きい船が何千、何万といる。中には海賊船も。24時間レーダーで監視はしているが、「衝突したら、乗り込まれたら」と不安が常につきまとう。

そんな緊張から解放されるのが家に戻ったとき。「ただ、戻った日の夜は静か過ぎて眠れんですね」と笑う。

「息子たちに、漁のおもしろさや可能性を感じてもらいたい」。その一心で今日も危険な東シナ海に挑む。

ハッピーバースデー 1歳になります



金澤 つかさ 司 くん

北原町
平成19年4月7日生
父・孝司さん 母・理佐さん
ぼくの家は8人の大家族！
これからも、たくさん遊んでね♡



荒木 ほのか 星乃花 ちゃん

五和町城河原三丁目
平成19年4月25日生
父・一弥さん 母・順子さん
じいちゃん、はあちゃん、いつも
ありがとう。これからもよろしく。



渡邊 えな 永菜 ちゃん

下浦町
平成19年4月23日生
父・大成さん 母・佳代さん
じいちゃん、ばあちゃん、これか
らも、わんぱく姫をよろしくネ♡



柿塚 そら 颯来 くん

太田町
平成19年4月8日生
父・大介さん 母・裕子さん
乃亜のアイドルです♡
みんな、たくさん遊んでね！



濱 けいいちろう 慶一郎 くん

北浜町
平成19年4月5日生
父・彰さん 母・良美さん
じいちゃん、ばあちゃん、
いつも遊んでくれてありがとう！



米田 あみ 愛海 ちゃん

本渡町広瀬
平成19年4月25日生
父・信二さん 母・悦子さん
この笑顔が、わが家の大切な宝物
です！

5月で満1歳になるお子さんを募集します！
●応募期限＝4月10日(木)まで(必着)。
●応募方法＝写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は6人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。



▲コミュニティ助成事業で購入した消火器を地区内の10カ所に設置



▲消火器の取り扱い訓練

天草町高浜の白木地区には、砂防指定河川である倉川が流れており、梅雨の時期や台風の際は河川のはらんや堤防の決壊などの不安が常に付きまといまいます。こうした地域性から住民の防災意識が高まり平成18年3月16日、白木区自主防災会を設立。

その後、地域の安全とコミュニティの発展を目的に、コミュニティ助成事業を活用して消火器や発電機、毛布、担架など、災害に備えた機材などを購入しました。機材が完備できたことで、「自分たちの地域は自分たちで守る」という住民意識が一層高まりました。

白木区自主防災会(吉田義輝会長)

「コミュニティ助成事業で地域防災の充実を図る」

人が動く 地域が動く 天草が動く

地域づくりコーナー

市民のスポーツ (敬称略)

【天草ロードレース大会】(2月17日、新和町)※リ＝リトルクラブ、ク＝クラブ、イ＝イキイキクラブ。
[ミニハーフマラソン(約2.1km)] ●小学4年男子…①山田雄喜(有明陸協り)②中原康太(楠浦陸上ク)③川上麟太郎(有明陸協り) ●同女子…①塩家麻弥(新和小)②井手尾菜鈴(有明陸協り)③村上早紀(楠浦陸上ク) ●小学5年男子…①濱孝宗(楠浦陸上ク)③矢田健鐘(牛深イ) ●同女子…①土手里観(牛深小)②松島史歩(有明陸協り)③泉晴菜(本渡南小) ●小学6年男子…②松本優生(有明陸協り) ●同女子…②杉本祐海(牛深イ)③岩崎果帆(牛深小) ●ファミリーの部…①植田陸輝(亀場町)②松本大成(牛深町)
[ミニマラソン(約4.2km)] ●中学1年男子…①佐々木康智(本渡中)②松原大勇(同)③倉田浩太(同) ●同女子…①松下歌歩(牛深中)②宮崎杏奈(本渡東中)③濱本楓(新和中) ●中学2年男子…①渡邊一磨(本渡東中)②梅津圭佑(牛深中)③石田淳(本渡中) ●同女子…①愛甲

彩絵(牛深中)②山本真衣(本渡中) ●中学3年男子…①根岸成光(牛深中)②畑山修生(稜南中)③久保田将嵩(稜南中) ●同女子…①上野由香子(本渡中)②酒井彩(牛深中) ●16～34歳男子…③前田大輔(北浜町) ●同女子…①松下智恵(牛深町)②田尻理香(牛深町)③宮崎恵(五和町) ●35～49歳男子…②山下敬介(楠浦町)③岩本真澄(楠浦町) ●同女子…①森川保津美(楠浦町)②吉岡優子(北原町)③田中孝美(本渡町) ●50歳代以上男子…①花谷雄治(新和町)②山下常照(戸宇土町) ●同女子…①大田紀代子(川原新町)
[5km] ●高校1年女子…③村田さくら(本渡町) ●同3年女子…①松岡南(新和町)
[10km] ●高校2年男子…①大田侑典(新和町) ●20歳代男子…①五嶋大輔(有明町)②山下敏宏(本渡町) ●30歳代男子…①山下将近(楠浦町) ●同女子…②丸林美和子(有明町) ●40歳代男子…③岡松祐二(川原新町) ●50歳代男子…①田原英介(亀場町)③松本晴彦(本渡町) ●同女子…①畑田ももえ(宮地岳町) ●60歳代男子…①近藤親芳(下浦町)②山下茂(牛深町)③浜崎二丸(志柿町)

【編集発行】

熊本県天草市役所
総務部秘書課広報広聴係
〒863-8631 天草市東浜町8番1号
TEL 0969-23-1111
FAX 0969-22-7016
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>
E-mail hisyoka@city.amakusa.lg.jp



先月、子どもの部活動の対外試合で子どもの成長した姿を見た。これまでは負ける試合が多かったのに、初めての全勝。負けても、負けても、毎日練習してきた成果が出た。日々の過ごし方で成長できることを改めて実感。私も“今”を大切に成長したい。【空】

いやな時期を迎えています。田舎人なのに「花粉症」なるものを患い、朝はティッシュの山。目はかゆいし、くしゃみは出るし、困ったものです。ただ、嗜好は変わっておらず、「お酒は米の汁でいい、肴はあぶったイカでいい」「時々馬刺しが食えりゃいい」のです。【凡】

2月中旬にインフルエンザのB型に感染し、前号で皆さんに注意を呼びかけた私。B型が完治して2週間後、今度はA型に感染。インフルエンザにかかること自体、広報担当7年目にして初めてのこと。年度末の忙しい時期に、なぜ？いやな（8年目の）予感が…。【松】

広報紙づくりの楽しみの一つは人との出会い。普段はなかなかお会いする機会のない方に、いろいろなお話を聞かせていただきました。ありがとうございました。今後とも出会いを大切に、お世話になった方々のような魅力的な人になれるようがんばります。【村】



レンズの
奥に見える **宝島**のキャンパス



樹齢300年。島を守るアコウの木

Vol.26
御所浦町牧島

御所浦町牧島の牧本地区にあるアコウの木は、潮と風に強いこの木の特徴をよく知った先人の知恵で、防潮・防風用として海岸線に植えられました。樹齢約300年、幹囲4.8m、樹高12.5m。しっかりと勢いよく根を張り、横に枝が伸びたこのアコウの木は、市指定天然記念物となっています。また、生い茂る枝葉がつくる木陰は、地元の人たちが集う憩いの場となっています。



「山口の施無畏橋と架橋碑」(本渡町本渡)

染岳のふもと、町山口川に架かる石造アーチ橋で、下浦石で作られています。無畏庵の参道として明治4（1871）年に最初の橋が架けられましたが、その後崩落。現在の石橋は、明治

15（1882）年に再建されたものです。

長さ約23mと天草にある石橋の中でも大型のもので、大きく弧を描く形状は、下浦の石工たちの巧みな技術を伺い知ることができます。平成18年5月に熊本県の重要文化財に指定。昨年、欄干の補修を行いました。

無畏庵の入口にある「架橋碑」には、架橋年号のほか、世話人や下浦の石工の名前などが刻まれており、建設当時の状況がよくわかります。



▲染岳のふもと、町山口川に架かる山口の施無畏橋